



喜茂別町立喜茂別中学校通信

喜中だより

令和3年5月28日（金）発行 No.2

◆学校教育目標◆

たくましい人

(知)自ら学ぶ生徒(徳)正しく判断できる生徒

(体)あきらめずにやり抜く生徒

◆令和3年度の重点教育目標◆

自ら考えて行動する生徒の育成

『ハチマキと願いごと』

校長 午 来 睦 美

昨年度に引き続き、校内陸上競技大会は通常通り実施できない状況です。職員一同悩みに悩んだ末に、規模を縮小して半日日程で企画しています。それすらも無事に実施できるものか、祈るばかりです。中体連も同様です。

今回はこうした競技にはつきものの「ハチマキ」のお話です。

このハチマキの歴史は、なんと日本神話（古事記）までさかのぼります。

太陽を司るアマテラスオオミカミが、弟のスサノオノミコトが大暴れすることに心を痛め、天岩戸という洞窟に隠れてしまいます。太陽神がいなくなった世界は真っ暗闇に包まれたため、作物が育たなくなったり、病気になったり、たいへんなことになりました。そこで八百万（「たくさん」という意味）の神々が知恵を絞り、洞窟の前でどんちゃん騒ぎをしてアマテラスオオミカミの気を引いて力尽きて引きずり出そうということになりました。そのどんちゃん騒ぎの中心となってダンスをしたのがアメノウズメノミコトという神様です。外の様子に気になって洞窟の出口まで来たアマテラスオオミカミを他の神々が連携プレイで引きずり出し、世界に太陽が戻った・・・という有名なくだりがあります。

このとき、アメノウズメノミコトが頭に葛（かずら）という蔓系の植物を巻いていたのがハチマキの始まりだと言われています。

これは神話の話ですが、古墳時代から、日本ではお祈りごとをするときには巫女が頭に蔓のようなものを巻いていたそうです。

実際のところ、頭にハチマキを巻くと、なんだか気が引き締まるような、気合いが入るような、そんな気持ちになりませんか？

見事無事に陸上競技大会が開催されたら、みんなで頭にハチマキを巻いて、喜茂別中学校のみんなが元気に活躍できるよう、また、世界中で平和な日常が取り戻せるよう祈りつつ、テーマの「一秒懸命」を実現させてほしいと思っています。

5月29日(土)校内陸上競技大会を開催します!

全校テーマ「一秒懸命」

令和3年度校内陸上競技大会を、5月29日(土)午前8時30分より開催いたします。コロナ禍の中、昨年度は中止となり、2年ぶりの開催となりますが、生徒たちは個人記録への挑戦と、チームやクラスの仲間と力を合わせて競技を行います。



※写真は練習中の様子です。

学校の周りに花がいっぱい

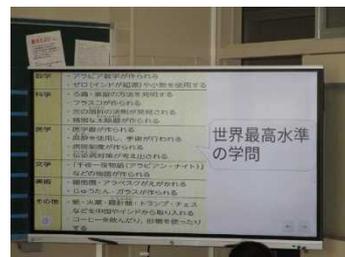
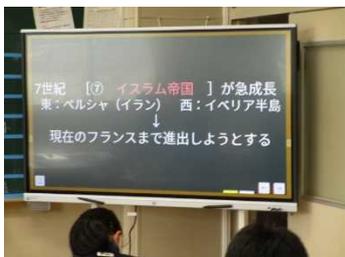
校務補の佐藤さんの創意工夫をはじめ、先生方の熱意と協力により、校舎の前庭や周辺の花壇には多くの植物が育っています。



学校近くに来られた際には、是非ごらんください。

電子黒板が入りました

今年度から新しい電子黒板が導入されました。すでに各教科での活用も始まっています。



本校では現在、生徒一人一人の力を引き出すための授業づくりとして、「『わかった・できた』から、次の課題へ挑戦する学習指導」や「『わかるようになった』ことを説明、活用できる授業の充実」などの改善を図っています。今まで通りの教材や教具の活用はもちろんのこと、電子黒板を初めとする情報機材も利用しながら、生徒たちにとって、よりわかる授業を目指していきます。